

なんかい、105号

2017年2月1日発行

南海寮 広報委員会
熊本県天草市本町下河内1685番地の1
TEL 0969-23-3850
FAX 0969-22-4977
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp
URL http://www.nankairyou.or.jp/

散歩コースに咲いたサザンカを横目にウォーキング



年頭所感

卒啄同時〜調和を大切に



昭和50年開設から42年を迎える年

に、啓友会南海寮にとつての大きな出来事として、施設の建替工事を計画・実施する事になりました。平成28年度施設整備補助金申請から交付決定まで、国や県、市をはじめ多くの関係者の皆様方より、多大なるご理解とご協力を頂きまして、真に有難く感謝を申し上げます。

さて本年は、社会福祉法人制度改革の施行も目前に迫り、待たなしの状況で、改革スケジュールに添って進めることはもちろんですが、社会のあり方や個人の生活が多様化し福祉ニーズも福祉制度も多様化の一途にある中、制度改革の要請に答え社会福祉法人の組織強化を図り、公益性の高い社会福祉法人として、4月より生計困難者に対する相談支援事業にも参画し、地域ニーズに応えられる法人・施設を目指さなければと心を新たにしている所です。

今年は何年か「卒啄同時」を目標にと新聞のコラムで紹介されてきました。「卒」は鶏の卵がかえる時、殻の中でヒナがつつく音。「啄」は

それに合わせて母親が殻をかみ破ること。禅宗では、師と弟子の呼吸がぴったり合う様子。親子、教師と生徒、上司と部下等さまざまな人間関係でコミュニケーションが取れているとの意味です。

施設の建替工事と社会福祉法改正への対応等、同時並行に進めていく必要があり、施設経営や運営面等、雑多な問題・困難が予想されますが卒啄同時を目標に、職員はじめ関係各位の協力を得て、風通しの良い、調和のとれた組織運営を心掛け、この難局を乗り越えていかなければと考えています。建替工事の関係で事業運営の見直し・変更を余儀なくされますし、利用者やご家族、関係者の皆様に変なご心配とご迷惑をお掛けすることになります。ご理解を頂きたいと思っております。完成した暁には、快適な住環境の中で、より良いサービスが提供できる様、更に資質の向上や人材育成に努める事はもとより、利用者やご家族、地域の皆様の意向を尊重したきめ細やかな対応、個別支援の向上等を心掛け、利用して良かった、また利用したいと思われる信頼される事業所を目指して取り組んでいきたいと考えています。今後とも皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

固定概念にとらわれない

多面的な視点を持った支援

支援員 金子 恵 三

強度行動障害を伴う利用者の方々には以前からその様な行動障害を持っておられたのではなく障がい特性（口頭による指示の理解が難しい）や環境要因（静かな場所を好むが騒がしい場所で過ごしている）など支援のミスマッチや環境的配慮不足からストレスが溜まってしまい爆発してしまう症状であり、その方にストレスを与え続けて作りに上げてしまった物である為に、修復する（元に戻す）事も支援次第で可能なのだという事を知った。また、支援方法でも写真や絵・スケジュール表の活用は勿論だがその中に本人の好きなキャラクターの写真や玩具を取り入れる事により集中力を増す事が出来たりするという話も参考になった。研修では、実際に支援員が自閉症の方々の視覚や聴覚障害を持った利用者さんの疑似体験も行われ、いかに自分の知っている単語・文字・ジャスチャーがあるだけで聴き手の受け取り方（理解）は大きく変わるという事も知ることができた。しかし、ジェスチャーにも個人個人で受け取り方に大き

な差があったり、伝える側のバリエーションがなかったりと互いに「伝わらない」「何と言っているのか分らない」とストレスが少しずつ発生している事もわかった。その中で写真や絵といった物は言葉がなくとも指示が分り易い部分が多く、互いにストレスの軽減にもなり大変便利な代替コミュニケーション手段だと実感した。その他、実際に重度の自閉症・行動障害の息子さんがおられるご家族からの話の中で昼夜問わずに、寝かせつける為にドライブや、自傷を防ぐ為に抱き抱えて過ごしていた事、周囲の理解も無く、アパート暮らしも出来なくなり家を建てざるをえなかった事など、苦労されたお話が沢山あった。心に残った言葉として、「障害は病気ではありません。その人の個性です。大変な部分は沢山ありますが常に視点を変えて見守って下さい。自ずと見えていなかった部分が見えて来てその気づきや関わりが自分の財産となり、一緒に成長して行く事へと繋がるはずです。」という言葉があり、自分自身の支援を振り返ってみると、各利用者さんの支援に当たる際に自分が始めに感じた視点・概念で見ればかりで、色んな角度から見ることが出来ておらずもっと視野（視点）を広く持った支援が必要だと気付かされた。

「意向が反映された生活の実現に向けて」使命感を確固たるものに

支援員 大中 佑 介

今回の大会は「虐待防止と意思決定支援」をテーマに掲げられ、今日の社会福祉における重要な課題のひとつでした。

大会冒頭の虐待防止アンケート報告では事業所内に虐待防止法規定の整備がなされていない事業所が15%程あり、急務を要する必要があると話がありました。これは、近年において最重要視されており、様々な福祉制度の見直しや変革の時期も重なったためであり、社会福祉法人にとっては一刻も早い事業所内の組織規程整備と運営が必要になります。

当事業所においては、朝礼時の倫理綱領読み合わせや、施設内研修等を実施していますが、それらを通して支援者としての倫理観や行動規範を遵守する意思を確固なものとしていく事が重要だと再確認出来ました。

また、意思決定支援においては近年特に注目されていますが、利用者さんの意思を汲み取る事は大変難しく、一歩間違えるとニーズ実現から遠ざかってしまいます。大

会初日の意見交換会へ参加させて頂いた際に、ある事業所職員からは「利用者の方の意思をくみ取り意向を反映した支援も、ご家族側からはそこまで求められていない」との声も挙げられました。

私自身は、重度の障がいのある人であっても、必ず「意思」や「意向」あるいは「考え」や「気持ち」があり、それを大前提として、どうすれば意思の決定を支援できるかと考えるのが「意思決定支援」のポイントではないかと思えます。

自主的に意思を表示できる方への支援は比較的容易にできる部分もあるかと思えますが、福祉の現場で働く者として、発語が困難な方や意思表示が上手く表現できない方への支援が問われるのではないのでしょうか。その為には、日頃の生活状況や嗜好を観察していく必要がある事は勿論、利用者の方が意思決定する上では体験や経験から判断する事も多く、支援者として視覚的アプローチなど工夫した情報提供を行うなどの取り組みが必要となると思います。

今回の大会において改めて意思決定支援は難しいテーマであると感じ、今後は更に利用者の方の意向を反映されたニーズ実現に向けて努力していきたいと思えました。

施設内研修テーマ

使命達成度検討会



社会資源の活用や、知る権利の保障、意思決定や尊厳の尊重、プライバシーの配慮など利用者支援に関する各設問に対してセルフチェックを行い、その結果や意見をもとに検討会を実施しました。

使命達成度に関しては、毎年同じ設問で業務の定点観測を行い、支援者としての使命の再認識と、振り返り、過去と現在を比較し、チームとして改善すべき点は正されているかをチェック・検討しています。

そもそも「使命」とは「責任を持って果たさなければならない任務」の意で、「義務」や「責務」という言葉にも置き換えられます。という事は各設問の全ての項目に対して、最低限果たしていなければならぬという事になります。が、各項目に着目していくと、実際にはできていないものより、むしろ十分にできていないものの方が多事に気づかされます。私たち人間は、日々繰り返される日常の出来事に対して、その事象を違った視点でみる事に鈍感になりがちです。改めて考えると疑問に感じたり、気付かされる

事も、同じ環境の中で日々繰り返される事で、それが「普通」になりスタンダードになります。もしこのスタンダードが、世間の常識からかけ離れた悪しき習慣や、間違った価値観であった場合、その瞬間に施設は特殊な閉ざされた空間や環境としてガラパゴス化してしまいます。そうならない為に常に自らの業務を客観的に評価し、自問自答し、継続的にチェックする作業が必要なのだと思います。

私たちの仕事は、生産業などとは違物理的な成果で評価をすることができません。それこそ、日々の利用者さんの変化や成長、楽しそうな表情や平穩無事な姿にその価値を見出し、やりがいを感じている従事者が大多数でしょう。しかし、日常的であるがゆえに、それが当たり前であるかのように思慮する事を忘れ、時折支援者としての喜びにも鈍感になり、目の前の仕事にただ没頭し、「使命」が置き去りになってしまふ時があります。そんな中でも、先日残念ながら逝去された利用者のご遺族より「南海寮に入って本当に幸せでした」という言葉を頂き、支援者としての喜びと、私たちの「使命」の先に利用者の方の幸せがある事を改めて教えていただきました。

松浦光毅

Information.1

施設老朽のための建替えのお知らせとお詫び

本紙冒頭の年頭所感のとおり、施設の建替え工事が今年2月より本格的に開始されます。仮設住居の建設から始まり、主に解体工事、本館建設、外構工事といった流れで順次施工されますが、施工期間はおおよそ1年を要し、計画では来年の平成30年2月の竣工予定となっております。その間一部の利用者の方には仮設住居に移っていただくなど、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、できる限りご不便に感じられる事がないうような細心の配慮に努めてまいります。

また、施工期間にあたる平成29年度は、例年行ってきた一部事業や行事等の実施も中止を余儀なくされるものがあり、特に当施設が伝統として行ってきた野菜苗の育苗と販売につきましてビニールハウスの解体と移設に伴い、残念ながら断念せざるをえない状況であり、毎年ご愛顧を頂いているお客様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、来年以降再販をさせて頂く際には改めてご案内をさせて頂きたいと思っておりますので今後共にご最^{ひいき}願の程よろしくお願致します。

工事期間中、利用者、ご家族、地域の皆

様、関係各位の皆様方には多方面でご迷惑をおかけ致しますが、リニューアルした「新・南海寮」がハード面に限らず、更に充実した事業所としてスタートできるような皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

Information.2

グループホームみなみの建替えが竣工。定員増で新たにスタート

平成5年、既存の戸建住宅をお借りして入居者5名でスタートした「グループホームみなみ」も老朽化や消防法改正等に伴い建替え工事を実施。12月より定員を6名に増員し、新たな入居者も加わって再スタートしました。入居者の入れ替りや、在宅から親元を離れて新規で入居をされた方もおられ、新しい環境になった事で、多少の戸惑いや^{いさか}争いはありますが、丸2ヶ月が経ち新生活にも慣れ、皆さん今までと変わらず毎日元気に通所や就労に出かけ、夕方はホームに帰られる姿に安堵しています。



秋冬物衣類購入 (11月)



天草地区施設スポーツ大会 愛藍ピック (11月)



旅行 (11月)



本町ふるさとまつり (11月)



餅つき・忘年会 (12月)



どんどや (1月)





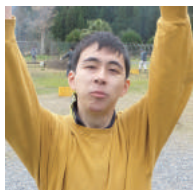
がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」
今回は平成28年11月から平成29年1月に受賞された皆さんです。

11月 (Nov)



天藤奇洋子さん
紙ちぎりをがんばりました



岩崎将伍さん
歩行をがんばりました



土本唯一さん
農作業をがんばりました



富田純善さん
木作業をがんばりました



松永八重子さん
毎日健康に元気にすごすことができました

12月 (Dec)



高瀬行雄さん
歩行をがんばりました



中元ムツコさん
手伝いをがんばりました



花田庄司さん
花台磨きをがんばりました



山下竹男さん
歩行をがんばりました



渡辺博子さん
紙ちぎりをがんばりました

1月 (Jan)



大笹賢一郎さん
機能訓練をがんばりました



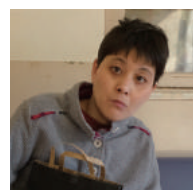
岡村直樹さん
紙漉き作業をがんばりました



里方なつみさん
洗濯をがんばりました



野元とも子さん
ビーズ通しをがんばりました



福原五月さん
歩行をがんばりました



世話人
植村りみ子



グループホーム
宿直職員
平田輝孝



宿直職員
野島広和



障害者支援施設 南海寮
生活支援員
釜崎智代



通所センターだより



年がかりもう1か月も過ぎてしまいました。時間の過ぎるのは速いと感じている今日この頃です。

さて、今回のセンターだよりは、年末に行った餅つきを紹介したいと思います。

毎年頂いたもち米を使い餅つき機で餅つきを行うのですが、今年は杵と臼を用意してみました。臼は職員宅に長年眠っていた石臼で軽トラで運んできました。本体施設の忘年会で、杵と臼を使つての餅つきは行っていますが、スタッフ誰一人として返し手の経験がなく少々不安でしたが、「搗けば餅になるんだから！」なんて考えでの開催だったものの、当日は利用者さんを送って来られた

お父さんやお母さんが参加して下さい、アドバイスも頂いて美味しいお餅が出来ました。力いっぱい杵を振りあげて搗かれる方や、嬉しそうに杵を握って小刻みに搗かれる方、「おいしい〜」と言いながら搗きたての餅を頬張る様子などを見ているとして良かったなあ〜とつくづく感じました。杵を入れておく桶がなかったり、臼が冷えない様にお湯を入れた時にかぶせる蓋を準備していなかったりだとか、餅が硬かったり、反対に柔らか過ぎたりなどの反省はありましたが、それをいかして「第2回通所センター餅つき大会」を開催できたらと思います。

大仁田 美穂

職員研修会等参加報告

- | | |
|--------------------------|------|
| ■熊本市連携発達障がい講演会（11月5日） | 松浦徳他 |
| ■中堅社員リーダー研修（11月17日） | 高瀧 |
| ■県知的障がい者施設職員研修（11月25日） | 大仁田他 |
| ■サービス苦情解決研修（11月30日） | 櫻井 |
| ■会計実務研修（12月1日） | 佐藤 |
| ■ハートウィークフォーラム（12月19日） | 坂本 |
| ■ABA連続講座（12月22日） | 田中他 |
| ■福祉人材採用戦略セミナー（1月13日） | 中嶋他 |
| ■ボランティアコーディネーター研修（1月16日） | 倉田 |
| ■虐待防止法研修（1月24日） | 瀬崎他 |

今後の予定

- 2月14日 施設職員家族合同研修会（ホテル熊本ニュースカイ）
- 4月 家族会総会

編集後記

明けましておめでとうございます。今年は暖かい新年を迎えることができました。酉年ということで、何かに向かって羽ばたく年にしたいと思っています。新年を迎えた時には清々しい気持ちになるものですが時間が過ぎるのはとても早いもので、新年の挨拶をしたと思ったらすぐに桜の季節になり、夏が来て、紅葉の季節が来たと思ったらまた年末になり、年が明ける為、充実した1年だったと思えるよう1日1日を大切に過ごしたいものです。

今年はアメリカの大統領が新しく就任します。それと同時に日本への影響も考えられます。まさにどんな年になるのか想像がつかないものですが、皆さん一人一西（とり）がたくさん幸せを感じる年になりますようお願いしています。kana



- 写真上段右 松本圭世さん
- 写真上段左 山下侑大さん
- 写真下段 園田恭平さん

おめでとうございます!



職員 新成人の抱負

★松本安純
大人としての責任を自覚し、様々な事に挑戦し、学びの多い1年にしたい。

★小玉大貴／やさしく、周りから信頼される魅力ある大人になりたい。



新規入所者紹介

野崎若菜さん（苓北町）
（平成29年1月1日入所）

■退所／山崎茂幸さん（11月17日逝去）